

春 秋 会



幹事長 清水 善 廣

春秋会の由来

春秋会は大正13年（1924年）3月に結成され、来年3月には創立80周年を迎えようとしております。結成当時は、主として現在の東京工業大学の前身である旧制東京高等工業学校出身者により、弁理士会役員選挙の母体としての団体を目指したとのことです。現在は、東京工業大学の出身者ばかりでなく、多種多様の学校から幅広く出身者が会員となっております。

春秋会の名称は、春には弁理士会役員選挙のために、秋には弁理士試験合格者祝賀会を開催し、会員が聚集することから命名されたと聞いております。

春秋会の発足にあたっては、役員選挙母体を主たる目的としていましたが、会員の親睦団体ともなっております。春秋会は、620名を越える会員数となり、その約1割が女性会員で占められるようになってきております。各会員の得意分野も多岐にわたり、若い会員も春秋会内や弁理士会委員会等で広く活動しています。本年度の笹島富二雄会長を始め、弁理士会会長も過去多数選出されております。

春秋会の組織

春秋会の意思決定機関は総会ですが、諮問機関としての相談役会の意見を参考にして、幹事会が会務の運営を行っております。本年度の幹事会は市川誠、畑中芳実、奥山尚一、住吉多喜男、澤木紀一、久門保子の6人の副幹事長を含め、総勢20名の幹事団を編成し、会務を運営しております。幹事会は月1回の定例日に開催されますが、HPの幹事会専用掲示板を利用して、事前に情報交換を行い、円滑な幹事会運営を心掛けております。

春秋会の中には、甲信越、名古屋方面の会員で構

成される「東海春秋会」があります。東海春秋会は、愛知、静岡、岐阜、三重、長野在住の会員が入会しています。東海春秋会幹事長の小林洋平会員が、春秋会幹事会との連絡役として三重 - 名古屋 - 東京と長距離移動で活躍中です。

尚、重要事項の決定に対しては、幹事長経験者を含めた相談役会の助言を得て、若手会員の未経験事項を補っています。

次に、各委員会、同好会の簡単なお紹介を致します。

委員会

政策委員会

政策委員会は、弁理士会からの各派への会務その他についての意見徴収に対し、春秋会としての見解を述べ、また、広く弁理士の実務、将来等について積極的に提言することを目的としております。前副会長の牛久健司会員に委員長をお願いし、会務で培った経験を生かして頂き、正副会長会からの意見聴取に対応するとともに、独自に、ロースクールと弁理士制度、弁理士倫理、非組織弁理士対策の検討を行って頂いております。

人事委員会

小山輝晃委員長の下、弁理士会委員の推薦、日弁委員・役員の人選・推薦にあたっていただき、若手、ベテランを含め、各会員の持ち味を生かせるよう、相応しい人材の推薦、発掘をして頂いております。

協議委員会

杉本ゆみ子委員長の下、新役員制度、会員数の急増、郵便投票制度に対応した役員選挙についての基本的な考え方を、若手、経験者の多様な意見をまとめ、提言して頂いております。

研修委員会

青木篤委員長の下、特定侵害訴訟代理権の獲得を踏まえ、民事訴訟に焦点を絞った研修の企画、実行をして頂いております。尚、海外研修も企画中です。また、特実、意匠商標、外国業務A（欧州）、外国業務B（米国）の各研究部会も各座長の下、活発な活動が行われております。

広報委員会

広報委員会の大事業は、会報「春秋」の年3回の発行です。茂泉修司委員長を中心にした各委員の骨折りにより、第58号を10月に発行したところです。春秋会の活発な活動が限無く紹介されておりますので、興味のある方は、幹事会までご連絡下さい。

ホームページ委員会

本年度は広報委員会から分離独立して、ホームページ委員会として独自に活動して頂いております。山崎隆委員長を中心に、ホームページの充実に注力して頂いております。各委員がホームページビルダーの習熟に努めるなど、スキルアップも併行して行われ、アクセスが2万1千件を越える充実振ります。（アドレス：<http://www.shunju.gr.jp>）

会則検討委員会

木戸一彦委員長の下、会則の制定についての検討を始めて頂いております。

春秋会80周年記念準備委員会

佐藤辰彦委員長の下、若手を中心に翌年に控えた記念事業の企画を練って頂いているところです。

同好会

同好会には、句会、野球部、ゴルフ部、テニス部、スキー部、ボーリング部、麻雀部等、それぞれ同好の士が集い、普段の激務を離れ、息抜きにも余念がありません。野球部は、2年連続優勝の後、3位に

泣いた昨年の無念をはらすべく、本年度は優勝を目指し決勝戦に漕ぎ着けているところです。選手層の厚いボーリング部は、年末の恒例行事となっている日弁ボーリング大会の6連覇を目指しています。

春秋会の行事

春秋会の行事の中で7月の親睦旅行会が前半最大のイベントです。今年度は開口宗昭会員に旅行会実行委員長を引き受けて頂き、NHK大河ドラマ「前田利家」に因み、石川県は加賀温泉郷へと足を伸ばしました。恒例のセミナーでは、「近未来の知財資格制度について」と題した笹島会長のキーノートスピーチの後、牛久前副会長を含め論客5名によるパネルディスカッションを行い、活発に意見交換を行い、弁理士の将来を考えました。その後の宴会、二次会では、樽酒、利き酒と日本酒にまみれ、日本海の珍味を堪能しながら、親睦を深めました。

8月には、霞ヶ関ビルのレストランから東京湾花火を見ながらの納涼会を行い、相談役会、幹事会、委員会、研修部会の面々が一同に集まり、会務に関わる情報交換と親睦を図りました。10月2日、4日には弁理士試験口述練習会を実行し、120名を越える受験生を迎え、延べ80名を越える会員で対応しました。

本年度も合格者祝賀会実行委員会を幹事会とは別個に設け、西出眞吾会員に委員長を引き受けて頂き、趣向を凝らした就職懇談会（10月25日）、弁理士試験合格者祝賀会（11月18日）と、新人との出会い作りにも力を入れております。

その他、役員選挙当選者祝賀会（11月26日）、叙勲・褒章受章者祝賀会兼忘年会（12月6日）、退任役員慰労会・新役員激励会（3月）を実行予定です。